

石川工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	現代社会
科目基礎情報					
科目番号	15360		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	3	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	『高校政治・経済』（実教出版）				
担当教員	小西 洋子				
到達目標					
1. 近現代における政治の基本原理・機構を理解する。 2. 日本国憲法の内容や日本国憲法により定められた諸権利を理解する。 3. 政治の三権分立に関わるシステムを理解する。 4. 現代日本の政治における影響関係や問題点を説明できる。 5. 国際政治上における日本の役割を十分に把握する。 6. 近現代における経済の基本原理を理解する。 7. 経済を動かす企業や市場、金融に関するシステムを理解する。 8. 政府の財政と経済の関係性を把握する。 9. 経済の仕組みを把握し、論理的に説明できる。 10. 現代日本と国際社会が持つ政治・経済上の諸問題について表現できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	近現代における政治の基本原理・機構を正確に理解する。		近現代における政治の基本原理・機構を理解する。		近現代における政治の基本原理・機構を理解していない。
評価項目2	日本国憲法の内容や日本国憲法により定められた諸権利を正確に理解する。		日本国憲法の内容や日本国憲法により定められた諸権利を理解する。		日本国憲法の内容や日本国憲法により定められた諸権利を理解していない。
評価項目3	政治の三権分立に関わるシステムを正確に理解する。		政治の三権分立に関わるシステムを理解する。		政治の三権分立に関わるシステムを理解していない。
評価項目4	現代日本の政治における影響関係や問題点を正確に説明できる。		現代日本の政治における影響関係や問題点を説明できる。		現代日本の政治における影響関係や問題点を説明できない。
評価項目5	国際政治上における日本の役割を十分に把握する。		国際政治上における日本の役割を把握する。		国際政治上における日本の役割を十分に把握していない。
評価項目6	近現代における経済の基本原理を正確に理解する。		近現代における経済の基本原理を理解する。		近現代における経済の基本原理を理解していない。
評価項目7	経済を動かす企業や市場、金融に関するシステムを正確に理解する。		経済を動かす企業や市場、金融に関するシステムを理解する。		経済を動かす企業や市場、金融に関するシステムを理解していない。
評価項目8	政府の財政と経済の関係性を正確に把握する。		政府の財政と経済の関係性を把握する。		政府の財政と経済の関係性を把握していない。
評価項目9	経済の仕組みを正確に把握し、論理的に説明できる。		経済の仕組みを把握し、論理的に説明できる。		経済の仕組みを把握せず、論理的に説明できない。
評価項目10	現代日本と国際社会が持つ政治・経済上の諸問題について正確に表現できる。		現代日本と国際社会が持つ政治・経済上の諸問題について表現できる。		現代日本と国際社会が持つ政治・経済上の諸問題について表現できない。
学科の到達目標項目との関係					
本科教育目標 1 本科教育目標 3					
教育方法等					
概要	これらの技術者は、多様化する現代社会に対応し国際社会への理解を深める必要がある。本授業では、技術者として必要となる政治・経済・社会に関する基礎学力と専門的知識を身につけることを目指す。そして、このことを通じて、幅広い視野を持った技術者として社会や環境に配慮できるような能力を養う。				
授業の進め方・方法	関連科目：地理，倫理，歴史Ⅰ，歴史Ⅱ 事前事後学習など 授業の理解度を深めるため、小テスト及びレポート提出を各2回実施する。				
注意点	評価方法・評価基準 中間試験、期末試験を実施する。 中間試験（40％）、期末試験（40％）、小テスト（10％）、レポート（10％） 成績の評価基準として50点以上を合格とする。 注意事項と学習上の助言： ・教科書および適宜配付するプリントは紛失しないよう必ず保存し、授業内容を確認すること。 ・現代社会を理解する際に必要となる時事問題についても随時説明するため、意識して日頃のニュースを新聞等で確認すること。 ・レポートについては、必ず提出すること。				
テスト					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス・民主社会の基本原則	民主社会の基本原則が説明できる	
		2週	民主政治の思想史・世界の政治体制	民主政治の思想史・世界の政治体制が説明できる	
		3週	日本国憲法	日本国憲法について説明できる	
		4週	国会	国会について説明できる	
		5週	内閣・裁判所	内閣・裁判所について説明できる	
		6週	行政・地方自治	行政・地方自治について説明できる	
		7週	国際政治と日本	国際政治と日本について説明できる	

	2ndQ	8週	中間試験解説・経済思想史	経済思想史について説明できる
		9週	市場・企業	市場・企業について説明できる
		10週	物価・景気変動	物価・景気変動について説明できる
		11週	財政の仕組み・社会保障制度	財政の仕組み・社会保障制度について説明できる
		12週	金融の仕組み	金融の仕組みについて説明できる
		13週	現代日本経済の問題点	現代日本経済の問題点について説明できる
		14週	現代日本と国際社会の関係	現代日本と国際社会の関係について説明できる
		15週	前期復習	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	3	
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	10	10	0	0	0	100
基礎的能力	80	10	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0